

《平成24年度 薩摩川内市事務事業評価表》

<b>1 事務事業の位置付け(Plan)</b>				内部評価者名 課長・室長・支所長	米丸 一己
事務事業名	視聴覚ライブラリー事業			担当者	平山 真理
所管部課名	教育部 中央図書館			事業の根拠 (根拠法令)	
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	生涯学習の推進
				施策 (項)	生涯学習関連施設の整備
予算科目等	会計	一般会計		教育費	
	項	社会教育費		視聴覚ライブラリー費	
	事項	視聴覚ライブラリー費	細事項	視聴覚ライブラリー費	

**事業の概要**

学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興のため、所有する機材・教材の適切な維持管理と時代に対応した機材・教材の整備並びに、積極的な貸出や映画会の開催等により利用促進を図るとともに、研修会等を開催して視聴覚教育に関する知識の普及に努める。また、所有教材のデジタル化等を推進するとともに、インターネット等での利活用について検討していく。

**2 事務事業の実施 (Do)**

事業の 内容	対象 (誰を、何を対象とする事業か)	一般市民、学校教育及び社会教育の関係者	事業開始年度				
	手段 (市がどのような活動をするか)	学校教育及び社会教育における、視聴覚教育機材、教材(ビデオ・DVD等)の整備及び貸出、視聴覚教育推進のための研修会等の開催。	活動指標 (市として何をを行うか?)	指標名	①	視聴覚ライブラリー便り発行	
					②	映画会、研修会、市民講座等の開催	
	意図 (どのような目的で事業を行うか)	視聴覚機器、教材を活用した学校教育及び社会教育の推進	成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	最終目標値	①	3回/年	
				②	25回/年		
			最終年度	①	継続		
				②	継続		
			指標名	①	教材利用人数		
				②	映画会・研修会等参加者		
			最終目標値	①	22,000人/年		
				②	350人/年		
			最終年度	①	継続		
				②	継続		

  

コスト・指標の推移	項目		単位	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 (見込み)	平成25年度 (見込み)	平成26年度 (見込み)
	事業費	国・県支出金	千円					
		その他						
		一般財源		299	319	300	300	300
		合計(A)		299	319	300	300	300
	従事職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	人件費(B)	千円	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	
	従事嘱託員数	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	
	人件費(C)	千円	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	
	トータルコスト	千円	9,099	9,119	9,100	9,100	9,100	
活動指標の推移	①	回/年	3	3	3	3	3	
	②	回/年	6	18	23	25	25	
成果指標の推移	①	人	19,064	20,784	21,000	22,000	22,000	
	②	人	173	265	330	340	350	

**事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)**

備品購入 (H22年度:VTR一体型DVDレコーダー、DVD教材、ビデオ教材)、(H23年度:DVD教材)

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある <input type="checkbox"/> 妥当でない (上記選択の理由) 視聴覚機器は近年学校や一般家庭等にも普及してきているが、多くの人数が一堂に会し視聴するためのプロジェクター等の機器は高価で一般に普及していないこと、また、多くの人が視聴できる映像ソフトは著作権の関係で高価であること、学校ではジーストリームが導入され5教科関連のソフトは揃っているが、防災安全、消費生活等の教材は十分ではないと思われることなどから、視聴覚ライブラリーで引き続き視聴覚機材、教材を整備し、市民に提供していく必要がある。
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) プロジェクター等は高価な機材であること、また、一般公衆の場で上映することを目的とする映像ソフトは著作権の関係から高価であることから、個々の学校や社会福祉団体、コミュニティー団体、企業等で整備することは困難であることから、市が視聴覚ライブラリーでこれらの視聴覚機材、教材を整備し、無料で貸し出すことにより、視聴覚教育の振興がはかれる。
効率性	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 社会経済状況に応じて変化する、防災安全、消費生活、食品衛生、健康管理、児童教育等の教育ソフトを限られた予算内で、必要最小限購入しているものであり、削減の余地はない。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 図書館事務との兼務により、職員1名、嘱託員1名の配置をしている。視聴覚機器、教材を常に良好な状態で保守・管理し、貸出し業務を行う事務、子ども映画会、教育メディア研修、ビデオ編集講座等を開催するには、視聴覚教育の専門的な知識を持った職員の配置が不可欠である。
有効性	成果の達成度 <input type="checkbox"/> かなり高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) ジーストリームの整備、薩摩川内市視聴覚研究協議会による学校教育教材巡回の廃止により、学校教育での利用は減ったが、保育園や児童クラブでの出張映画会の開催、まごころ文学館での映画上映等により、社会教育での利用者数は増えている。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) 今後、消費生活、防災安全、健康増進、児童教育等の所有ソフトを活用し、地区コミュニティー協議会、児童クラブ、社会福祉施設等、社会教育部門での利用者増に努めていきたい。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (一次)	①今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	②上記方向の理由 学校教育分野では、学校教育教材巡回の廃止等により、教材利用が減っているため、貸出方法の改善等を行うとともに、社会教育分野では、出張映画会の回数増や広報を強化し、利用促進につなげたい。
	③改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画 学校での教材利用については、貸出手続きの簡素化を図るとともに、地区コミュニティー協議会、児童クラブ、社会福祉施設等に対しては、広報活動の強化や出張映画会の開催等により利用促進を図る。
内部評価 (二次)	評価者名 教育部長 田畑逸郎
	①内部評価結果 妥当性 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い
	②今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
③上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分) 事業の市民への周知と時代の変化を踏まえた利用促進策の検討	